

近畿能開大だより

Vol 42 2019.3

発行 近畿職業能力開発大学校

〒596-0817 岸和田市岸の丘町3-1-1

TEL : 072-489-2112(学務課)

ホームページアドレス : <http://www3.jeed.or.jp/osaka/college/>



3月18日（月）専門課程及び応用課程の卒業式を実施しました。



高橋校長から卒業生への言葉

近畿職業能力開発大学校を卒業される皆さん、まことにめでとうございます。

教職員一同とともに皆さんのご卒業を心からお祝い申し上げます。

皆さんは、普通の工科系大学と比較して総授業時間数で約 1.9 倍、実験・実習時間数は約 2.4 倍、そのような多くの時間をここ近畿能開大で学んできました。社会人となるための一般教育、そして実践の基盤となる理論とその周辺技術、これに加え、ものづくりの基本となる 設計・加工・制御についての基礎を多くの実験・実習を通じて学び、さらに実際の現場で 必要とされる多くの技能を身に付けられたことと思います。そのおかげで知識・技術・技能は 単に学んだというレベルではなく、身についたものとなっていることと思います。社会に出て 仕事を進めていく上でこれは大きな力になるはずです。大いなる自信を持ってこれからの道を 開拓してください。

卒業生が語る

生産電子情報技術科を卒業した辰ノ嘉郎さんに4年間を振り返っていただきました。

人より努力しようという気持ちをもてたことが良かったと思います。

高校生の時パソコン関係のことを学びたい、将来はプログラミングの仕事がしたいと漠然と考えていたのですが、高校の担任の先生に薦められて近畿職業能力開発大学校へ進学を決めました。

入学した当初は楽しかったのですが、勉強面でみんなについていけないのではないかと不安を感じていました。そんな時、その不安を払拭するために、人より努力しようという気持ちをもてたことが良かったと思います。この思いが、平成28年度第11回若年者ものづくり競技大会への挑戦につながっていきました。放課後、学校に残って大会に向けてのトレーニングを積んだわけですが、他の学生より多くの時間勉強することになり、多くの事を吸収することができました。大会では、努力が実を結び、電子回路組立て部門で銀賞を獲得することができました。



若年者ものづくり競技大会に参加する辰ノさん
辰ノさんの経験は、勉強会を通じて平成30年同大会同種目に出場した電子情報技術科松下拓磨さんに伝えられ、見事銅賞獲得となった。

単位を落とすかもしれないという危機から、自分のやるべきことを行い、周りを巻き込んで行動し、きちんと成果を出せるようになりたいと思うようになりました。

入学当初から応用課程への進学を考えていたわけではありませんが、勉強する中でより技能・技術を高めたい、より多くのことを学びたいという意欲が強くなっていきました。しかし、応用課程での勉強は

思っていたものとは少し異なりました。専門課程の時のように先生から一方的に何かを学ぶのではなく、自ら考え、行動することも求められます。

それまで順調に成績を積み重ねてきたのですが、そのような環境の変化に対応できず、実は単位を落とすことになるかもしれないという危機を経験しました。これは、応用課程1年生で受講する標準課題と言われる授業で、課題を与えられグループで制作物に取り組みます。私はグループリーダーを担当していたのですが、自分

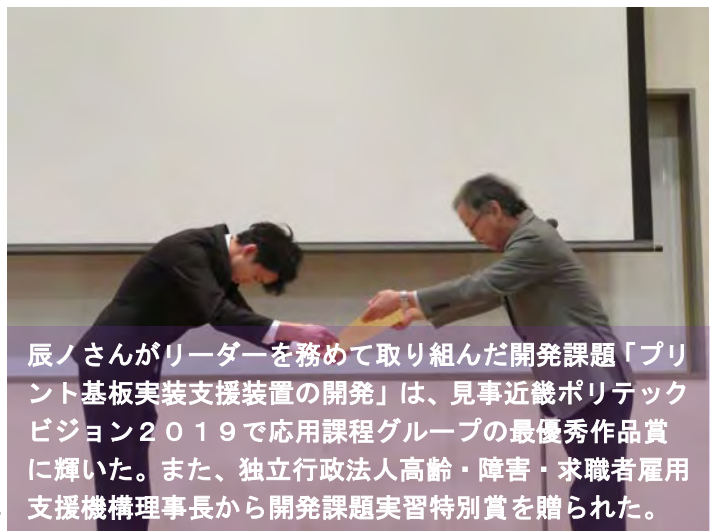


応用課程1年生の当時を振り返る辰ノさん

がやるべきことがうまく進まず、そんな状態で周りのみんなをなかなかまとめられませんでした。課題を期日までに完成させられるかどうか目途がつかなくて、本当にうまくいきませんでしたね。最後にグループでの成果を発表し、質問を受けるのですが、準備不足のため十分に説明できず、質問にも答えきれなくて本当に恥ずかしい思いをしました。これではだめだと実感し、自分のやるべきことを行い、周りを巻き込んで行動し、きちんと成果を出せるようになりたいと思うようになりました。

コミュニケーションを密にとったことで課題制作にうまく取り組むことができました。

2年生になって、開発課題でもリーダーを担当しました。開発課題では、同じ科だけではなく、電気と機械のそれぞれ別の科の学生も一緒になって課題制作に取り組むわけですが、前年の標準課題での経験を踏まえ特にコミュニケーションには気を使いました。機械が担当する部分については、こちらから一方的に製作して欲しいものを要求するのではなく、機械の学生としてはどのようなやり方が良いと考えるのかといった相手の立場を尊重して意見を聞くということをしました。また、同じ科の学生が担当する部分について日程どおりに進まないときは、とにかくコミュニケーションを重ね、何度もお互いカバーしながら取り組みました。議事録にない電子情報だけの打ち合わせの回数は、50回を超えていたと思います。その都度作業が止まるので効率が悪くも見えますが、コミュニケーションを密にとったことで課題制作にうまく取り組むことができました。



辰ノさんがリーダーを務めて取り組んだ開発課題「プリント基板実装支援装置の開発」は、見事近畿ポリテクビジョン2019で応用課程グループの最優秀作品賞に輝いた。また、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長から開発課題実習特別賞を贈られた。

いろんなことに挑戦してよかったと思います。それによって得られたものは多かったです。



この4年間、若年者ものづくり競技大会の挑戦から始まり、応用課程での標準課題及び開発課題のグループリーダーを経験しました。うまくいかないこともありましたが、結果としていろんなことに挑戦してよかったと思います。それによって得られたものは多かったです。これから入学する学生や在校生にもチャンスがあればぜひ挑戦してほしいですね。

👉 合同企業説明会を開催しました。

就職支援の一環として、当校で年3回開催している合同企業説明会の1回目を3月6日（水）に開催しました。多くの企業に参加いただいたことや、3月に卒業した学生が全員就職を決めたことから例年になく熱気のある説明会となりました。



👉 メカトロニクス技術科オープンキャンパス参加者受付中

2019年7月に入校する2年課程メカトロニクス技術科のオープンキャンパスを開催します。高校や大学を卒業後、ものづくりの分野への就職に興味を持った方は、是非ご参加ください。保護者の参加も可能です。

4月17日（水）、5月15日（水）、6月5日（水）いずれも13時から2時間程度実施します。当校ホームページよりお申し込みください。

👉 オープンキャンパス2019参加者受付中

2020年4月入校を目指す方等を対象に、専門課程の内容や入試の説明、施設見学、体験授業等を実施します。保護者の参加の可能です。

5月25日（土）、6月16日（日）、7月27日（土）、
8月25日（日）、9月28日（土）

今回から無料シャトルバス（予約制）をご利用いただけます。当校ホームページよりお申し込みください。